

## T&amp;D情報システム株式会社

## T&amp;D 情報システム株式会社

中国オフショア開発環境のセキュリティ強化に XenDesktop を採用。  
XenApp の導入で太陽生命のイメージワークフロー業務システムの  
効率的な更改も実現

“XenDesktop の導入で、USB メモリやプリンターなどの利用を制限できたほか、ソフトウェア配布も不要になりました。また、高解像度のイメージデータのやり取りに、ICA プロトコルは予想以上に効果があり、オフショア開発のネットワークコストをさらに削減できる見込みです”

テクニカルサポート部  
IT 基盤管理一課 マネージャー  
池田 睦 氏

T&D 情報システム (TDS) は、2001 年 10 月に設立され、T&D 保険グループの中核を成す、太陽生命、大同生命、T&D フィナンシャル生命の 3 生命保険会社の IT 戦略の立案・実行からシステム基盤の構築、そしてシステムの開発・運用まで、IT に関わるあらゆる業務を展開しています。「お客様本位のサービスを提供する」という経営理念に基づき、システム開発力の強化、システム運用の改善、人材育成の 3 つの取り組みを推進。常に先進的で高度な技術を探求し、社会のルールを守り健全な経営体質を築きながら、顧客満足度を向上させる努力と、継続的な成長を目指しています。こうした取り組みの一環として TDS および太陽生命では、イメージワークフロー業務と中国オフショア開発のための基盤として、Citrix® XenApp™ および Citrix® XenDesktop® を採用することを決定。アプリケーションとデスクトップの仮想化により、業務の効率化とセキュリティの強化を実現しました。

## 課題：業務の効率化と安全なオフショア開発の実現

太陽生命の「イメージワークフロー業務処理システム」は、2000 年から使用しているシステム基盤の老朽化対策が必要でした。また、開発コスト削減を目的に中国でのオフショア開発を推進していますが、そのためのセキュリティ対策も課題となっていました。イメージワークフロー業務処理システムは、これまで紙ベースで行っていた保険加入申込みや給付金支払いなどの事務処理をシステム化したものです。保険加入申込書や給付金支払い請求書をスキャナで取り込み、イメージデータ化して、ワークフローシステムにより業務の効率化を実現しています。事業一部 シニアプロフェッショナルの中澤 雅美氏は、次のように語ります。「イメージワークフローシステムを構築した时期的な背景もあり、クライアント OS に Windows 2000 を使用していました。しかし Windows 2000 のサポート期間が終了してしまったために、何らかの対策が必要でした」。そこで最新版の Windows 環境への移行を検討しましたが、Windows 環境を最新版に移行するためには、Visual Basic 6.0 で開発されていたイメージワークフローシステムの機能を、.NET で再構築することが必要でした。また全国約 150 ヶ所の支社および事務拠点等にあるすべてのクライアント端末を、最新版の Windows 環境に移行するためにかかるコストも大きな課題のひとつでした。中澤氏は、「クライアント端末は、古いものもありますが、新しいものもありました。そこで、なんとか既存の IT 資産を有効活用しながら、最新のインフラに移行ができないかを考えていました」と話しています。

また、2006 年より取り組みを開始した中国でのオフショア開発を本格的に推進するにあたり、開発資源を分散することなく、開発効率を向上させる仕組みの実現を検討していました。また、情報漏えいを防ぐためのセキュリティ対策も不可欠でした。イメージワークフローシステムの更改と中国オフショア開発のセキュリティ強化、この 2 つのシステムに関わる課題を解決するために採用したのが、XenApp および XenDesktop でした。

## ソリューション：XenApp と XenDesktop の特長を生かしたシステム構築

XenApp を利用したイメージワークフローシステムの構築は、2009 年 3 月ごろから検討が開始され、2009 年 9 月から 2010 年 3 月にかけて、TDS のデータセンター内に XenApp を構築し、テストを実施。2010 年 7 月より本番稼働しています。XenApp の採用を決めた理由を、テクニカルサポート部 IT 基盤管理一課 マネージャーである池田 睦氏は次のように語ります。「他社製ターミナルサーバー方式よりもネットワークの負荷が小さく、アプリケーションの開発インターフェースの豊富さ、実績から、XenApp の採用を決めました」。一方、中国オフショア開発用のインフラ構築では、XenDesktop によるデスクトップ仮想化を採用し、ワイズテクノロジー社のシンクライアント端末からアクセスできる仕組みを検討しました。その後、2009 年 11 月に XenDesktop の採用を決定、2010 年 4 月までの約 5 カ月でシステムを構築し、約 1 カ月間のテストを実施して、2010 年 5 月より本番稼働しています。

## 課題

- 古い端末、アプリケーションの有効活用
- 業務の効率化
- セキュリティ強化

## ソリューション

- XenApp によるワークフローシステムの集中管理
- XenDesktop によるオフショア開発基盤の構築

## ベネフィット

- 既存の IT 資産の有効活用
- 効果的なアプリケーション配布
- パフォーマンス向上
- セキュリティ強化
- ネットワークコスト削減

## 導入アプリケーション

- イメージワークフロー

## ネットワーク環境

- Citrix XenApp 5.0 for Windows Server 2003  
(同時接続ライセンス数：850)
- Citrix XenDesktop 4 VDI Edition  
(デバイスライセンス数：30)



事業一部 シニアプロフェッショナル  
中澤 雅美 氏



テクニカルサポート部 IT 基盤管理一課  
マネージャー  
池田 睦 氏

XenDesktop を採用した理由を、池田氏は次のように語ります。「XenDesktop の採用を決めたのは、Citrix ICA® プロトコルを搭載していたからです。中国と日本をつなぐ回線コストは高額なので、できるだけコストを削減できるソリューションが必要でした」。さらに池田氏は、「特にイメージワークフロー業務処理システムの開発を中国の会社にアウトソーシングしたときには、高解像度のイメージデータをやり取りするほか、トランザクションもかなりの量になるので ICA プロトコルには大きな期待を寄せていました」と話しています。

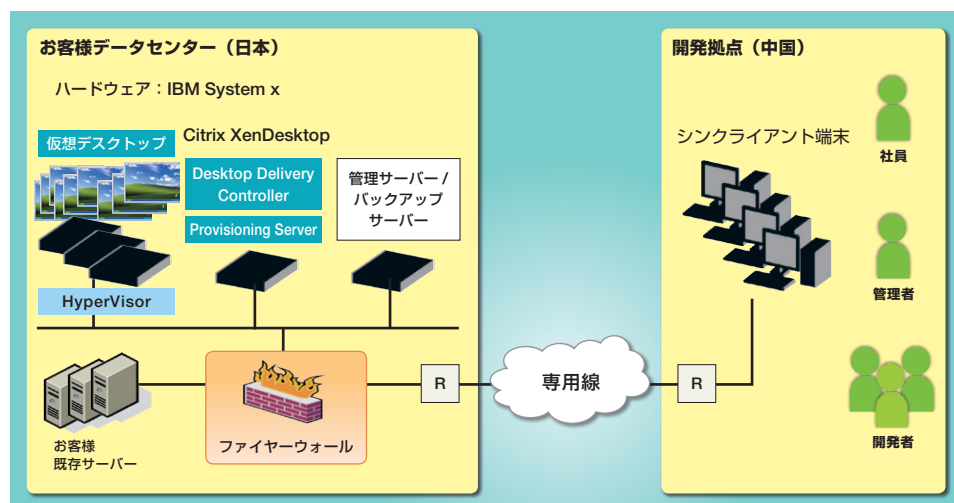
## 導入効果：ICA プロトコルの効果でネットワークコストを大幅に削減

イメージワークフロー業務処理システムに XenApp を導入したことで、クライアント端末の更改に依存しないソフトウェア環境を実現できました。アプリケーションを XenApp 上で動作させることで、既存の Windows 2000 環境はもちろん、最新 OS が搭載された Windows 環境からでもアプリケーションを利用することが可能になります。また以前は、アプリケーションの機能拡張が行われた場合、差分データを夜間処理で各クライアント端末に配信し、利用者が出勤してクライアント端末を立ち上げたときにアプリケーションを更新しなければなりません。しかしネットワークエラーなどで差分データが届いていない場合や、差分データを正しく適用できていない場合に、業務がストップしてしまうという問題がありました。中澤氏は、「XenApp では、サーバー上に差分データを適用するだけで新しい機能が利用可能になるので、夜間処理で差分データを配信する作業が不要になり、翌日の利用者トラブルもなくなりました。また利用者側の効果は、操作性は変わらない上に、パフォーマンスが向上したことです」と話します。さらに利用者の端末にデータが残らないので、セキュリティ面も強化されました。一方、中国オフショア開発における XenDesktop 導入のメリットを池田氏は次のように語ります。「XenDesktop の導入で、USB メモリやプリンターなどの利用を制限できたほか、ソフトウェア配布も不要になりました。また、高解像度のイメージデータのやり取りに、ICA プロトコルは予想以上に効果があり、オフショア開発のネットワークコストをさらに削減できる見込みです」。

## 今後のプラン：デスクトップ仮想化をほかの業務、部門に幅広く展開

今後、デスクトップの仮想化やアプリケーションの仮想化を、ほかの生命保険業務や部門システムなどにも幅広く活用していくことを検討しています。中澤氏は、「イメージワークフロー業務処理システムについては、ワークフロー業務の拡充を計画しています。また、オフショアはまだ始まったばかりなので、今後の状況を見ながら拡張していきたいと思っています。その場合でも XenDesktop であれば、クライアント端末をネットワークにつなぐだけで容易に拡張できます」と話します。また池田氏は、「XenDesktop と XenApp を組み合わせたインフラを、セキュリティ強化の観点から、我々の IT 基盤管理部門のインフラにも採用していきたいと思っています」と、今後の XenApp および XenDesktop に対する期待を話しています。

### XenDesktop を使った中国オフショア開発業務



シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社  
カスタマーサービス

☎ 0120-941-133

受付時間：月～金 9:45～17:30 (土日・祝日は除く)  
Email：cs-japan@citrix.co.jp

www.citrix.co.jp

Citrix Solution について

Citrix® XenDesktop® はすべてのアプリケーションおよびデスクトップを、オンデマンドでサービスとして提供する業界初のソリューションです。Citrix® XenApp™ は Windows アプリケーションデリバリーのデファクトスタンダードです。アプリケーションの仮想化とアプリケーションストリーミングの 2 種類のデリバリーで、あらゆるユーザー、あらゆるデバイス、どのようなネットワーク環境からでも最適なアクセス体験を提供します。

©Copyright 2010 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix®, XenApp™, XenDesktop®, NetScaler® は、Citrix Systems, Inc. の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。その他の社名、商品名はそれぞれの所有者の商標または登録商標です。

CSJ/TDS/1010/5000